

鳥取県地震

2025年（令和7年）11月

鳥取地方気象台

目次

| | |
|-----------------------|---|
| (1) 鳥取県とその周辺の地震活動 | |
| 震央分布図及び断面図、概況 | 1 |
| 震源リスト（M2.0以上） | 1 |
| (2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震 | |
| 震度のリスト | 2 |
| 震度分布図 | 3 |
| (3) 地震・津波の知識 | |
| 南海トラフ地震臨時情報について | 4 |

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

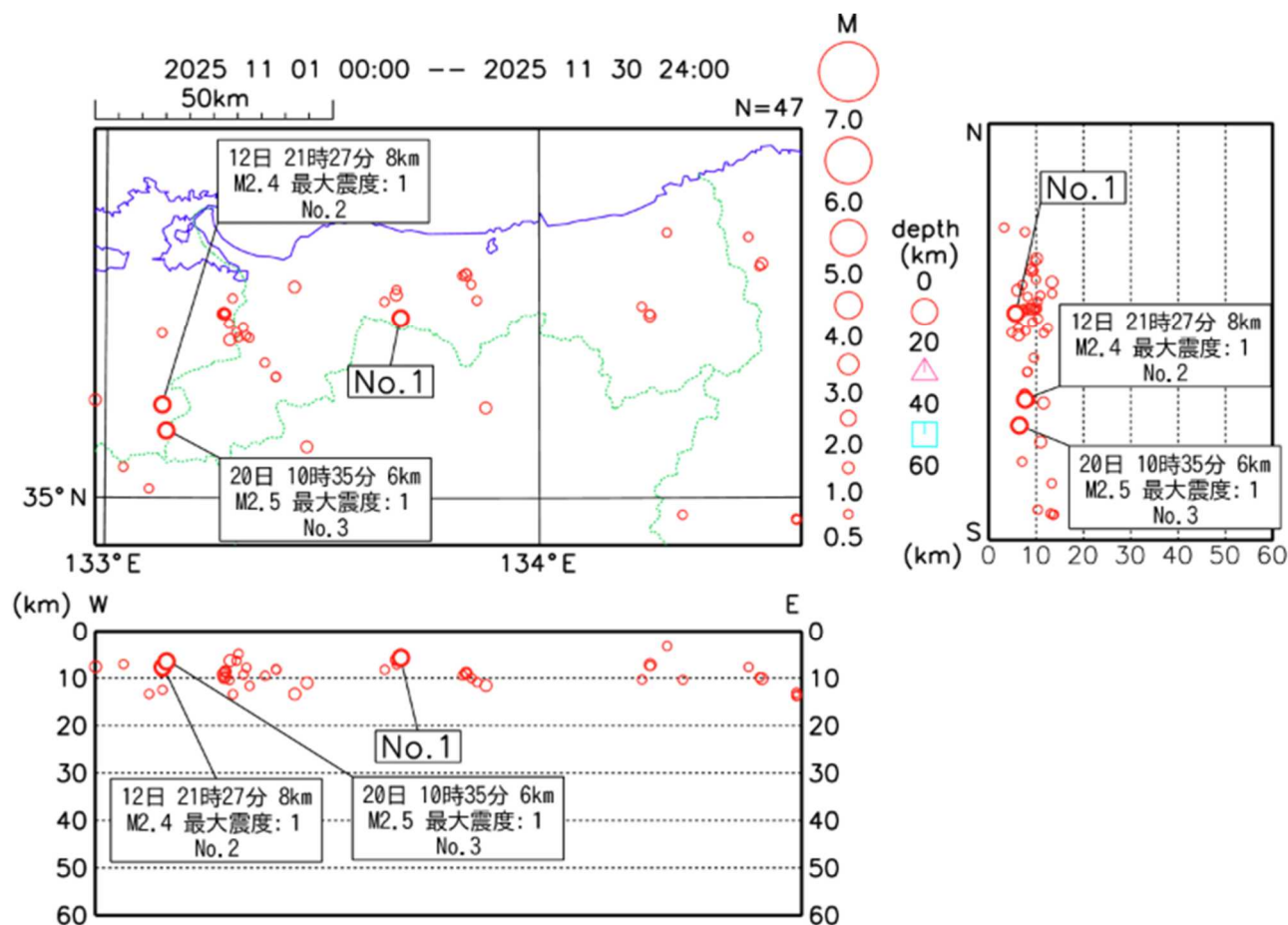
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがあります。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。

大阪管内地震活動図URL https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/divos_monthly.html

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2025年11月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（前月も1回）でした。

25日18時01分 熊本県阿蘇地方の地震（深さ9km、M5.8：上図の範囲外）により、熊本県産山村で震度5強を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市・米子市・境港市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は3回（前月は4回）でした（番号は震源リストに対応）。

なお、12日21時27分に発生した地震（上図のNo. 2）は島根県でのみ震度が観測されています。

また、20日10時35分に発生した地震（上図のNo. 3）は島根県と広島県で震度が観測されています。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

| No. | 発震時 (年 月 日 時 分) | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ (km) | マグニチュード | 最大震度 |
|-----|-------------------|-------|-------------|--------------|---------|---------|------|
| 1 | 2025年11月10日06時21分 | 鳥取県中部 | 35° 20.4' N | 133° 40.8' E | 6 | 2.1 | - |
| 2 | 2025年11月12日21時27分 | 島根県東部 | 35° 10.5' N | 133° 7.8' E | 8 | 2.4 | 1 |
| 3 | 2025年11月20日10時35分 | 島根県東部 | 35° 7.6' N | 133° 8.4' E | 6 | 2.5 | 1 |

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

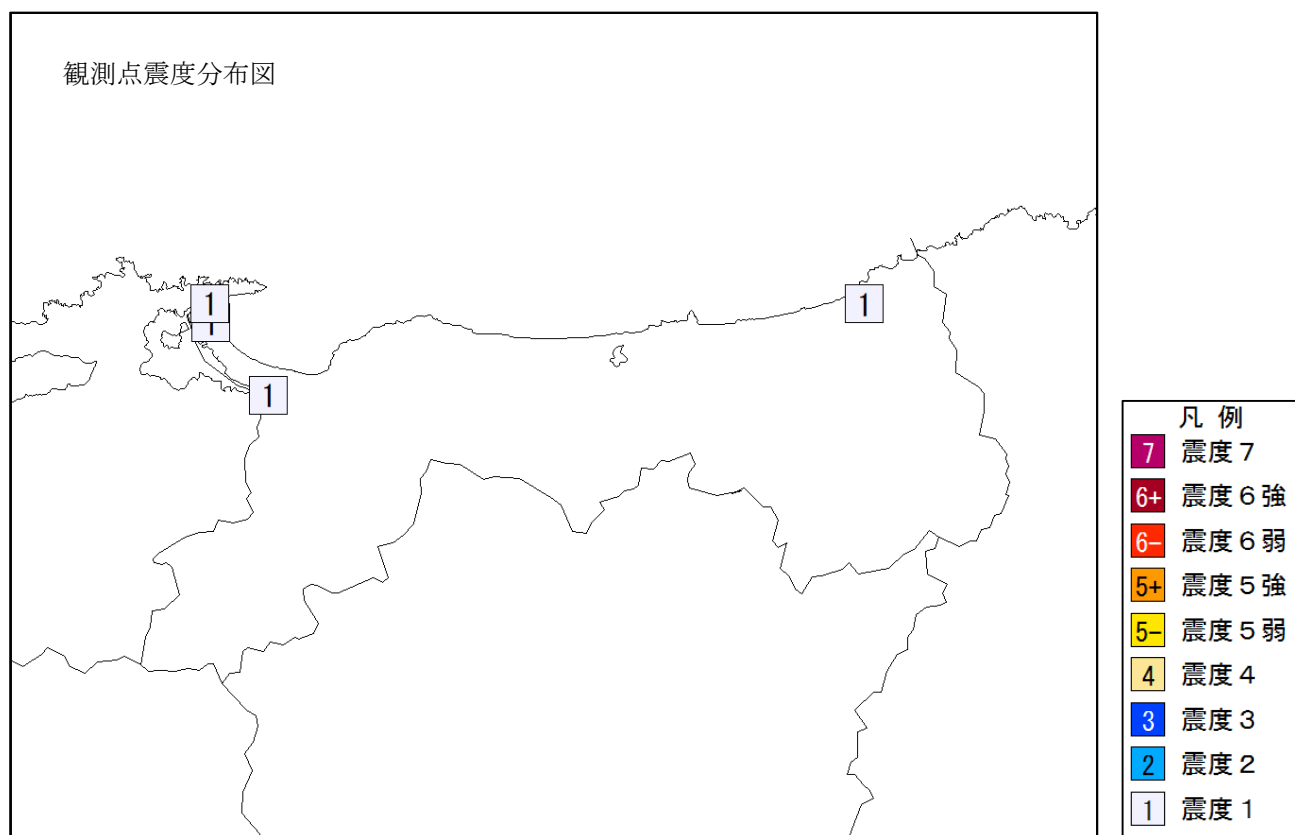
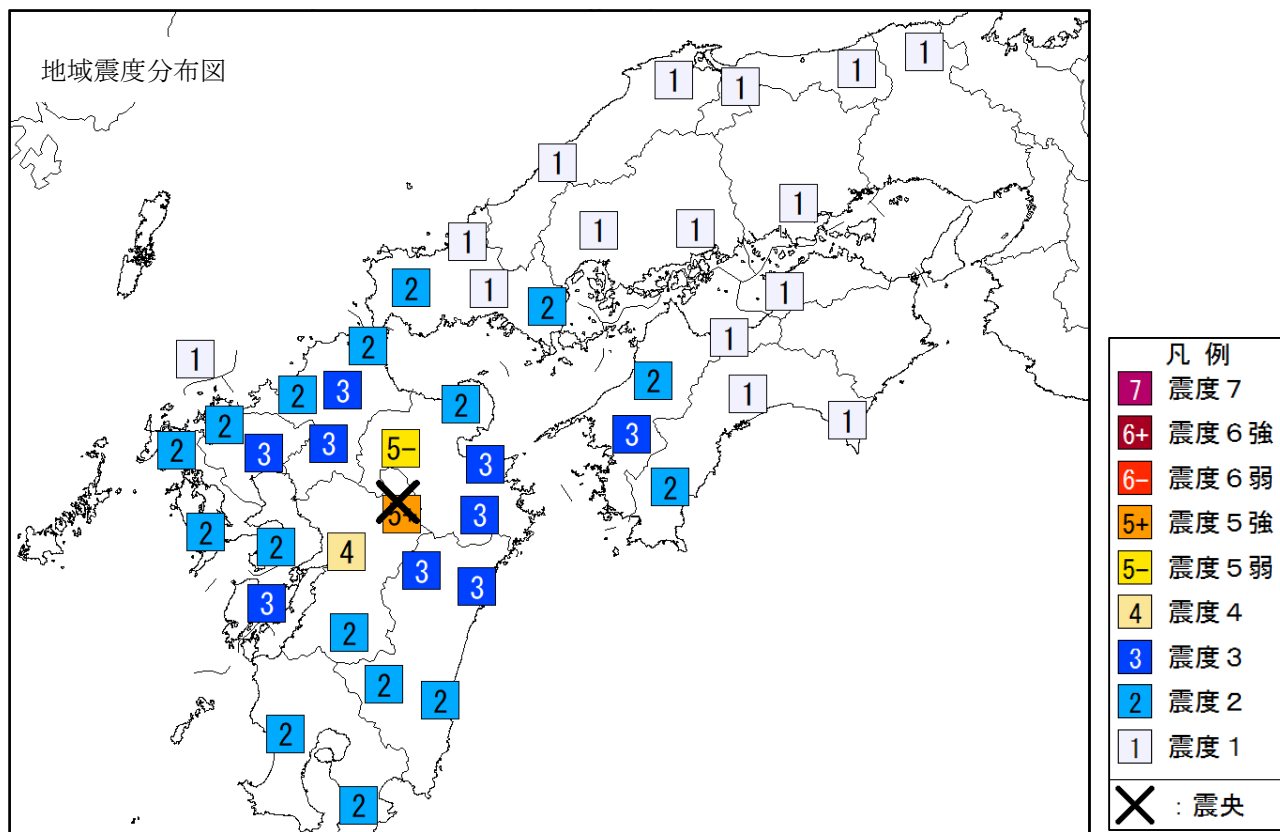
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

| 発震時 (年 月 日 時 分) | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ | マグニチュード |
|---|---------|--------------|---------------|-----|---------|
| 2025 年 11 月 25 日 18 時 01 分 | 熊本県阿蘇地方 | 32 ° 59.8' N | 131 ° 06.4' E | 9km | M5.8 |
| ----- 地点震度 ----- | | | | | |
| 鳥取県 震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 米子市東町*, 境港市東本町, 境港市竹内町* | | | | | |

・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）]

2025 年 11 月 25 日 18 時 01 分 熊本県阿蘇地方の地震



(3) 地震・津波の知識

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震で、過去には、想定震源域内の全域を震源域とした地震が発生したことがあるほか、東側半分の領域で大規模地震が発生し、時間差をもって残り西側半分の領域でも大規模地震が発生したこともあります（図 1、図 2）。

昭和東南海地震（1944 年 12 月 7 日）では発生から 2 年後に昭和南海地震（1946 年 12 月 21 日）が発生しています。2026 年は昭和南海地震発生から 80 年が経過します。また、昭和東南海地震と昭和南海地震はどちらも 12 月に発生しています。今月号（2025 年 12 月発行）では、南海トラフ地震に対する備えの一つとして、南海トラフ地震臨時情報（以下、「臨時情報」という。）について解説します。

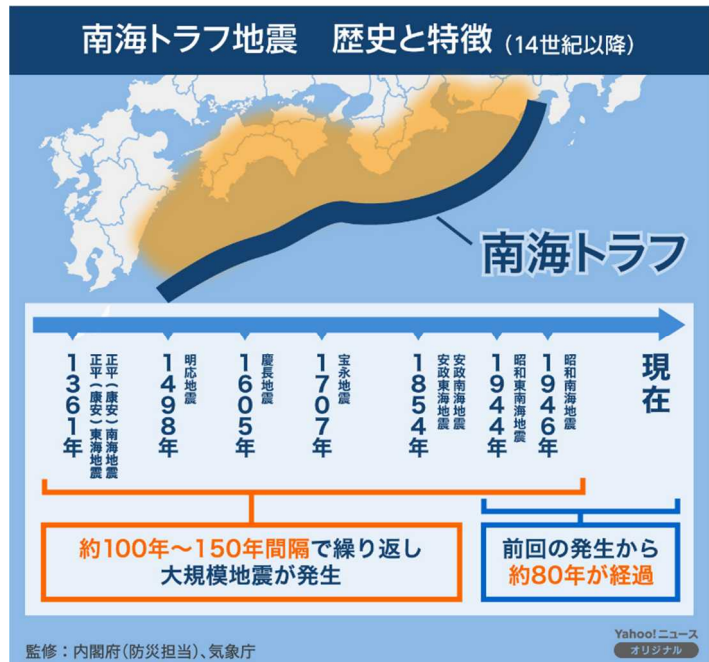


図1 南海トラフ地震の歴史と特徴

（気象庁 HP※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません）

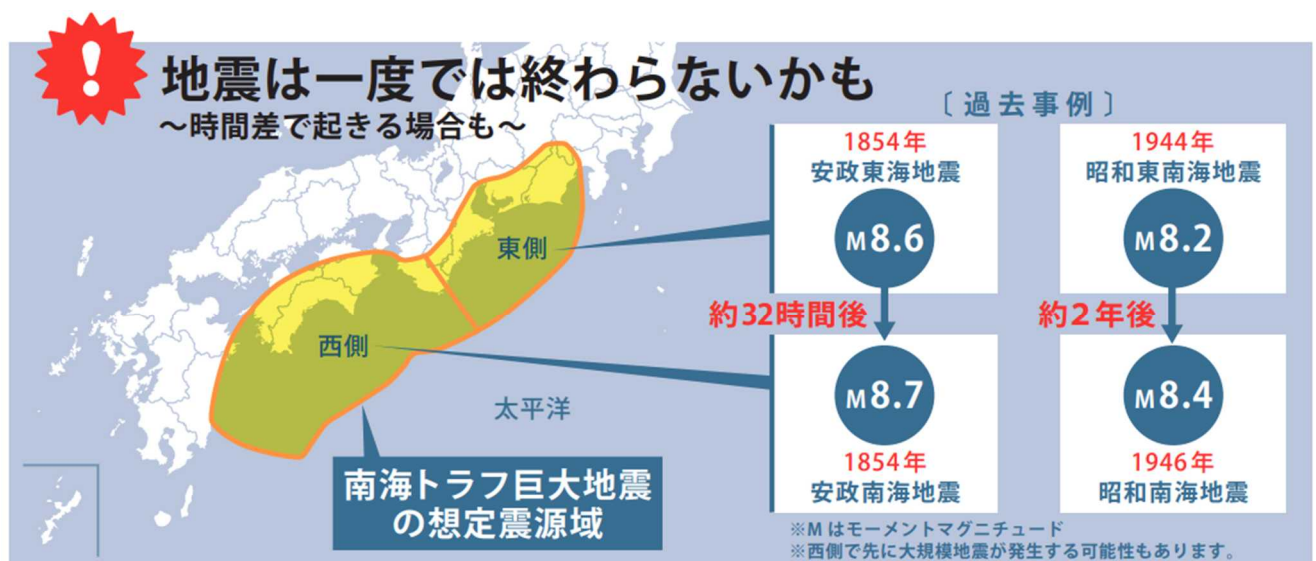


図2 過去の南海トラフの地震

臨時情報は、南海トラフ沿いの想定震源域で一定規模以上の地震が発生した場合等に、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に発表する情報です。臨時情報を発表する現象は図 3 の 3 ケースで、先発地震の発生場所や規模等によ

臨時情報発表時には、政府や自治体などから呼び掛けられる、臨時情報のキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意または調査終了）に応じた防災対応（図5）をとることが大切です。なお、既に発生した地震に伴う津波警報等が発表されている地域では、津波への防災行動を最優先とし、避難情報に留意するとともに警報が解除されるまで安全な場所にとどまり続けてください。

南海トラフ地震はもしかしたら明日にも起こるかもしれません。南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、南海トラフ地震発生の可能性の相対的な高まりについてお知らせする臨時情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。そのため、「日頃からの地震への備え」（図6）を実施することが大切であり、大きな地震が起きた時はまずは自分の身を守る行動を取りましょう。



図5 「臨時情報」のキーワードに応じた防災対応の概要



図6 日頃からの地震への備えの概要

（気象庁 HP：※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません）

参考：気象庁ホームページ

- ・ 知識・解説＞南海トラフ地震について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nteq/index.html>

- ・ 知識・解説＞「南海トラフ地震に関連する情報」について

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nteq/info_criterion.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和7年 11 月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

U R L <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857－29－1313